

全国



第2196・7号

ぜんこくしぎかいじゅんぽう

市議会旬報

令和4年 7月5日
(2022年)毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 2309
発行人 橋本 嘉一
https://www.si-gichokai.jp

議長会HP



自治法改正要望

「多様な人材参画必要」

第33次地方制度調査会総会

第33次地方制度調査会の第2回総会が6月3日、都内のホテルで開かれた。今後の審議事項として「議会のあり方」を取り上げることが決定、本会を含め、議会三団体代表は声を揃えて、多様な人材を地方議会に参画させるための各種要望事項を挙げ、早期実現を訴えた。

首相諮問では、デジタル・トランスフォーメーション(DX)進展、新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、▽国と地方公共団体及び地方公共団体間の関係▽その他の必要な地方制度のあり方についての調査審議が求められている。

この日の総会では「その他の必要な地方制度のあり方」で「地方議会の位置付け、議員の職務明確化、多様な層の住民の議会への参画につながる環境整備など地方議会のあり方」について審議することが了承された。

本会の清水富雄会長(横浜市会議長)は、最近

「地方選挙までに既に1年を切っている。可能な限り、前倒しで調査審議を進め、なるべく早い時期に一定の方向性を打ち出していただくことを強く要望する」と述べ、統一地方選

までの制度改正を求めた。全国町村議会議長会の南雲正会長(湯沢町議会

コロナ対応

「考え方整理を」

清水会長は、新型コロナウイルス関連では、国のこれまでの対応を検証する政府の有識者会議の動向を注視する姿勢を強調した。

本会は、地制調専門小委員会のヒアリングで①



第33次地方制度調査会第2回総会で発言する清水会長

議長)も同様に主張、全国都道府県議会議長会の柴田正敏会長(秋田県議会議長)は「例えば予算は地方公共団体が行う幅広い住民サービスの方針となるもので、女性や若者などを含めた多様な人で構成された議会で意思決定することが重要だ」と訴えた。

本会は、地方の議会改

現行法制に基づく国と地方公共団体、地方団体相互間の役割と責任の徹底的な見直し②保健所を有する政令指定都市、中核市などの大都市に対する権限と財源の移譲を求めている。この点について、清水会長は「この有識者会議においても検討作業が進められると思うので、検討状況も参考にしながらこの課題に対する政府としての統一な考え方を整理していただきたい」と述べた。

参院選挙へ

第26回参議院選挙が6月22日、公示された。投票日は7月10日。

国会閉幕

第208回国会(常会)が6月15日閉幕した。地方関連では商業地の固定資産税軽減を継続する改正地方税法などが成立した(3面参照)。

地方版総合戦略 改訂へ

「デジタル田園都市」基本方針 閣議決定

政府は6月7日、「デジタル田園都市国家構想の基本方針」を持ち回り閣議で決定した。光ファイバーなどハードの整備目標を明示するとともに、デジタル技術を活用して地域の課題解決に取り組む方針を示した。

政府は今後、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本改訂して田園都市国家構想の総合戦略を策定、地方公共団体には「まち・ひと・しごと創生法」に基づき地方版総合戦略の改訂を求めている。

政府は今後、専門人材の派遣などの支援策を取る。市町村が最高情報統括責任者(CIO)補佐官ら外部人材を任用する場合、特別交付税措置(令和3年度から5年計画で導入)で、財政面でも後押しする。

デジタル格差対策として、電子媒体に不慣れた高齢者らを支援するため、地方公共団体など連携し、2万人以上の「デジタル推進委員」を任命する取り組みを今年度中に始める。

地方への財政支援では、①地方創生推進交付金②地方創生拠点整備交付金③デジタル田園都市国家構想推進交付金④の3交付金を新たに「デジタル田園都市国家構想交付金」と位置付け、地方

さらには今夏までに、地方公共団体を対象とする「夏のDigital田園」を開催、地方で創意工夫された優れたデジタル活用の取り組みを表彰するとともに、優良事例の横展開を図る。

デジタル田園都市国家構想は岸田政権の看板政策。昨秋の政権発足後、関係閣僚と地方六団体との意見交換会が開かれており、本会は4月に開かれた若宮健嗣同構想担当相、野田聖子地方創生担当相、牧島かれんデジタル相との意見交換会で、①デジタル格差解消②有効なデジタル政策の横展開③デジタル技術も活用した子育て世代の地方定住などを求めている。

総務省「スキル標準案」

総務省は6月3日に開いた「地方自治体のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に関する検討会」で、自治体DXに関わる外部人材像を4分類した「スキル標準」案を提示した。DX推進に必要とされる人材像として、望ましいスキルなどの目安を示した。

同案は①プロデューサー(局長級)②プロジェクトマネージャー(課長級)③サービスデザイナー(係長、係員級)④エンジニア(同)の4分類。主導的な立場のCIO補佐官は「望ましいスキル等」が「国の政策動向に関する知見、全体方針立案」の①プロデューサーとして掲げた。

同省は4分類の人材像について「各自治体が必要部分をニーズに応じて選択することを想定している」と説明している。

「昨年方針に基づき編成」

骨太2022

政府は6月7日、「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太の方針)を閣議決定した。来年度予算編成について、「本方針及び骨太方針2021に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進する」と記した。「重要な政策の選択を平時に戻す」とした。

男女賃金格差「開示義務」

女性版骨太

政府は6月3日、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2022」(女性版骨太の方針)を決定した。「女性の経済的自立」の環境整備策の一つとして、男女間の賃金格差の情報開示を義務化する方針を明示した。実態の公開を通して企業などに格差是正を促す考えで、女性の登用目標達成を大きな柱に添えた。

▽は閣法
▼は議員立法

周込海溝型地震に係

新型コロナウイルス感染症対応を
検証してきた政府の有識者会議は6月15日、報告書を取りまとめた。感染対策を指揮する司令塔組織の整備を提言。一方、本
会が政府に求めている行政の役割分
担見直しなどは触れな
かった。

同会議は5月11日発
足。政府の対応につい
て「しっかりと検証し、
次に備える」（山際大
志郎新型コロナウイルス
健康危機管理担当相）
との触れ込みで5回会
合を開催し、検証を進
めるとともに提言を取
っている。

①現行法制に基づく国
と地方団体、地方団体
相互間の役割と責任の
徹底的な見直し②保健
所を有する政令指定都
市、中核市などの大都
市に対する必要な権限
と財源の移譲——を求め
ている。

議会人事

議 会 人 事										議 長									
▽愛西 杉村義仁(5.6)										▽愛西 杉村義仁(5.6)									
▽伊那 白鳥敏明(5.10)										▽伊那 白鳥敏明(5.10)									
▽春日部 鬼丸裕史(5.11)										▽春日部 鬼丸裕史(5.11)									
▽美濃 古田秀文(5.11)										▽美濃 古田秀文(5.11)									
▽大和高田 西村元秀										▽大和高田 西村元秀									
(5.11)										(5.11)									
▽山県 石神 真(5.12)										▽山県 石神 真(5.12)									
▽大崎 関 武徳(5.13)										▽大崎 関 武徳(5.13)									
▽太田 岩崎喜久雄(5.13)										▽太田 岩崎喜久雄(5.13)									
▽豊橋 堀田伸一(5.13)										▽豊橋 堀田伸一(5.13)									
▽豊川 早川喬俊(5.13)										▽豊川 早川喬俊(5.13)									
▽常滑 稲葉民治(5.13)										▽常滑 稲葉民治(5.13)									
▽蒲郡 稲吉郭哲(5.13)										▽蒲郡 稲吉郭哲(5.13)									
▽豊明 三浦桂司(5.13)										▽豊明 三浦桂司(5.13)									
▽熊野 久保 智(5.13)										▽熊野 久保 智(5.13)									
▽羽島 南谷佳寛(5.13)										▽羽島 南谷佳寛(5.13)									
▽枚方 木村亮太(5.13)										▽枚方 木村亮太(5.13)									
▽三木 堀 元子(5.13)										▽三木 堀 元子(5.13)									
▽三木 山村恵美子(5.13)										▽三木 山村恵美子(5.13)									
▽美馬 郷司千亜紀(5.13)										▽美馬 郷司千亜紀(5.13)									
▽高松 佐藤好邦(5.13)										▽高松 佐藤好邦(5.13)									
▽土別 井上久嗣(5.16)										▽土別 井上久嗣(5.16)									
▽久喜 柿沼繁男(5.16)										▽久喜 柿沼繁男(5.16)									
▽長久手 川合保生(5.16)										▽長久手 川合保生(5.16)									
▽高槻 山口重雄(5.16)										▽高槻 山口重雄(5.16)									
▽寝屋川 北川光昭(5.16)										▽寝屋川 北川光昭(5.16)									
▽大阪狭山 山本尚生										▽大阪狭山 山本尚生									
(5.16)										(5.16)									
▽府中(広島) 加藤吉秀										▽府中(広島) 加藤吉秀									
(5.16)										(5.16)									
▽小郡 井上勝彦(5.16)										▽小郡 井上勝彦(5.16)									
▽出水 田上真由美(5.16)										▽出水 田上真由美(5.16)									
▽大崎 佐藤謙英(5.13)										▽大崎 佐藤謙英(5.13)									
▽立川 木原 宏(5.12)										▽立川 木原 宏(5.12)									
▽江南 宮田達男(5.12)										▽江南 宮田達男(5.12)									
▽山県 加藤裕章(5.12)										▽山県 加藤裕章(5.12)									
▽大崎 佐藤謙英(5.13)										▽大崎 佐藤謙英(5.13)									
▽河内長野 桂 聖										▽河内長野 桂 聖									
(5.18)										(5.18)									
▽門真 大倉基文(5.18)										▽門真 大倉基文(5.18)									
▽藤井寺 畑謙太郎(5.18)										▽藤井寺 畑謙太郎(5.18)									
▽たつの 楠 明廣(5.18)										▽たつの 楠 明廣(5.18)									
▽副議長										▽副議長									
▽愛西 佐藤信男(5.6)										▽愛西 佐藤信男(5.6)									
▽出雲 伊藤繁満(5.9)										▽出雲 伊藤繁満(5.9)									
▽八幡平 井上辰男(5.10)										▽八幡平 井上辰男(5.10)									
▽伊那 野口輝雄(5.10)										▽伊那 野口輝雄(5.10)									
▽春日部 木村圭一(5.11)										▽春日部 木村圭一(5.11)									
▽美濃 古田 豊(5.11)										▽美濃 古田 豊(5.11)									
▽大和高田 砂原弘治										▽大和高田 砂原弘治									
(5.11)										(5.11)									
▽立川 木原 宏(5.12)										▽立川 木原 宏(5.12)									
▽江南 宮田達男(5.12)										▽江南 宮田達男(5.12)									
▽山県 加藤裕章(5.12)										▽山県 加藤裕章(5.12)									
▽大崎 佐藤謙英(5.13)										▽大崎 佐藤謙英(5.13)									
▽横須賀 永井真人(5.13)										▽横須賀 永井真人(5.13)									
▽南足柄 和田洋一(5.13)										▽南足柄 和田洋一(5.13)									
▽太田 高藤幸偉(5.13)										▽太田 高藤幸偉(5.13)									
▽豊橋 近藤喜典(5.13)										▽豊橋 近藤喜典(5.13)									
▽豊川 井川郁恵(5.13)										▽豊川 井川郁恵(5.13)									
▽常滑 加藤代史子(5.13)										▽常滑 加藤代史子(5.13)									
▽蒲郡 柴田安彦(5.13)										▽蒲郡 柴田安彦(5.13)									
▽豊明 鵜飼貞雄(5.13)										▽豊明 鵜飼貞雄(5.13)									
▽熊野 畑中新子(5.13)										▽熊野 畑中新子(5.13)									
▽羽島 後藤國弘(5.13)										▽羽島 後藤國弘(5.13)									
▽枚方 大地正広(5.13)										▽枚方 大地正広(5.13)									
▽甲賀 田中新人(5.13)										▽甲賀 田中新人(5.13)									
▽明石 辰巳浩司(5.13)										▽明石 辰巳浩司(5.13)									
▽三木 藤本幸作(5.13)										▽三木 藤本幸作(5.13)									
▽三次 藤井憲一郎(5.13)										▽三次 藤井憲一郎(5.13)									
▽美馬 前田良平(5.13)										▽美馬 前田良平(5.13)									
▽高松 白石義人(5.13)										▽高松 白石義人(5.13)									
▽日向 近藤勝久(5.13)										▽日向 近藤勝久(5.13)									
▽土別 村上緑一(5.16)										▽土別 村上緑一(5.16)									
▽会津若松 横山 淳										▽会津若松 横山 淳									
(5.16)										(5.16)									
▽久喜 丹野郁夫(5.16)										▽久喜 丹野郁夫(5.16)									
▽磐田 芥川栄人(5.16)										▽磐田 芥川栄人(5.16)									
▽犬山 久世高裕(5.16)										▽犬山 久世高裕(5.16)									
▽長久手 ささせ順子										▽長久手 ささせ順子									
(5.16)										(5.16)									
▽高槻 真鍋宗一郎(5.16)										▽高槻 真鍋宗一郎(5.16)									
▽寝屋川 金子英生(5.16)										▽寝屋川 金子英生(5.16)									
▽大阪狭山 井上健太郎										▽大阪狭山 井上健太郎									
(5.16)										(5.16)									
▽府中(広島) 加納孝彦										▽府中(広島) 加納孝彦									
(5.16)										(5.16)									
▽小郡 新原善信(5.16)										▽小郡 新原善信(5.16)									
▽出水 北御門伸彦(5.16)										▽出水 北御門伸彦(5.16)									
▽気仙沼 三浦由喜(5.17)										▽気仙沼 三浦由喜(5.17)									
▽能代 渡辺優子(5.17)										▽能代 渡辺優子(5.17)									
▽魚津 岡田龍朗(5.17)										▽魚津 岡田龍朗(5.17)									
▽砺波 有若 隆(5.17)										▽砺波 有若 隆(5.17)									
▽福井 村田耕一(5.17)										▽福井 村田耕一(5.17)									
▽栃木 福富善明(5.17)										▽栃木 福富善明(5.17)									
▽下野 相澤康男(5.17)										▽下野 相澤康男(5.17)									
▽高崎 後関賢二(5.17)										▽高崎 後関賢二(5.17)									
▽三島 佐野淳洋(5.17)										▽三島 佐野淳洋(5.17)									
▽日進 福安淳也(5.17)										▽日進 福安淳也(5.17)									
▽みよし 小嶋立夫(5.17)										▽みよし 小嶋立夫(5.17)									
▽岐阜 石川宗一郎(5.17)										▽岐阜 石川宗一郎(5.17)									
▽山口 富田正朗(5.17)										▽山口 富田正朗(5.17)									
▽美称 秋枝秀稔(5.17)										▽美称 秋枝秀稔(5.17)									
▽善通寺 竹森千津(5.17)										▽善通寺 竹森千津(5.17)									
▽新居浜 高塚広義(5.17)										▽新居浜 高塚広義(5.17)									
▽西予 信宮徹也(5.17)										▽西予 信宮徹也(5.17)									
▽にかほ 伊藤竹文(5.18)										▽にかほ 伊藤竹文(5.18)									
▽碧南 神谷 悟(5.18)										▽碧南 神谷 悟(5.18)									
▽四日市 石川善己(5.18)										▽四日市 石川善己(5.18)									
▽池田 中田正紀(5.18)										▽池田 中田正紀(5.18)									
▽河内長野 駄場中大介										▽河内長野 駄場中大介									
(5.18)										(5.18)									
▽門真 池田治子(5.18)										▽門真 池田治子(5.18)									
▽藤井寺 伊藤政一(5.18)										▽藤井寺 伊藤政一(5.18)									
▽たつの 高岸博之(5.18)										▽たつの 高岸博之(5.18)									
▽事務局長										▽事務局長									
▽砺波 津田泰二(4.1)										▽砺波 津田泰二(4.1)									
▽金沢 森沢英明(4.1)										▽金沢 森沢英明(4.1)									
▽福井 橋本亜由美(4.1)										▽福井 橋本亜由美(4.1)									
▽あわら 渡邊清宏										▽あわら 渡邊清宏									
(4.1)										(4.1)									
▽水戸 天野純一(4.1)										▽水戸 天野純一(4.1)									
▽常総 古谷 篤(4.1)										▽常総 古谷 篤(4.1)									
▽愛西 鷺尾和彦(4.1)										▽愛西 鷺尾和彦(4.1)									
▽小郡 船津由紀(4.1)										▽小郡 船津由紀(4.1)									

共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会

議員研修誌 月刊 地方議会人 7 July
A4判・68頁・定価831円(年間購読料 9,972円)特集
議会広報の新しいかたち

巻頭言 地方自治に思う

■ 議会広報の2つの役割

東海大学文学部教授 河井孝仁

■ 特集

▶ 誰ひとり取り残さない、新しい時代の「伝える広報」

早稲田大学マニフェスト研究所
招聘研究員 佐久間智之

▶ 議会広報作成時の基本的ルールを知ろう

著作権法の観点から
弁護士・ニューヨーク州弁護士
岩瀬ひとみ

▶ 議会広報の過去から現在までをたどる

議会報の歴史における全国コンクルの意義
自治体広報広聴研究所代表理事
金井茂樹

■ 現地報告

岩手県岩泉町／住民参加型広報紙で「開かれた議会」を目指す
岩泉町議会副議長 八重樫龍介埼玉県寄居町／議会だよりは住民自治の「窓口」
寄居町議会広報聴特別委員会委員長
鈴木詠子北海道旭川市／マルチ媒体・ルートによる議会広報の取組み
旭川市議会広報聴報委員会委員長
松田ひろし

■ 特別座談会

オンラインに対応した議会広報の新時代へ
— さまざまなメディアを活用する —
／芳野政明・吉村潔・長岡光弘

議員研修誌

地方議会人

共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会

巻頭言 河井孝仁

■ 特集

■ 現地報告

■ 特別座談会

■ 議会広報の新しいかたち



ご注文・問い合わせは

TEL 03-3264-2520又はFAX 03-3264-2867

URL <http://chuobunkasha.com/>

株式会社

中央文化社

スマートフォン
対応サイト

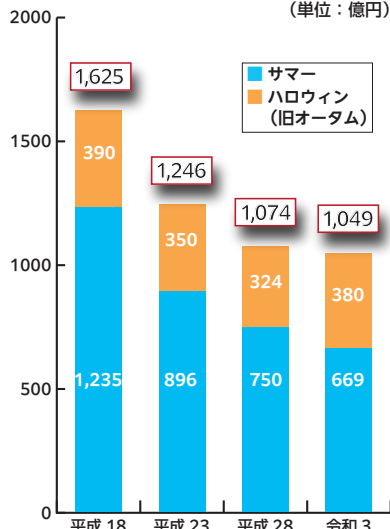
中央文化社

<http://chuobunkasha.com/>

検索サイトで「中央文化社」とご入力頂き、弊社ホームページをクリックしていただくか、スマートフォンでQRコードを読み取ることにより、書籍の詳細をご確認、ご購入いただけます。

市町村振興宝くじの売上額推移

(単位: 億円)



※併売くじがある場合には、併売くじを含む。
 ※端数処理の都合により合計が一致しない場合がある。
 (全国市町村振興協会資料をもとに本会作成)

サマージャンボ宝くじは、秋のハロウィンジャンボとともに「市町村振興宝くじ」として、売上金のうち34・8% (令和3年度) が市町村 (政令指定都市除く) に交付された。地方自治体の貴重な自主財源として、さまざまな公益事業に活用されている。しかし、宝くじの売上額は大幅に減少し、このままの状況が続くと、市町村財政に深刻な影響を及ぼすことが危惧されている。

このような中、総務省の地方財政審議会が5月25日に総務大臣に提出した「活力ある持続可能な地域社会を実現するための地方財政改革についての意見」の中で、宝くじの現状に関して、今後とも人口減少などにより宝くじを取り巻く環境が一層厳しくなると指摘。宝くじの売り上げ回復を図った地方財源の確保を図っていくため、▽購入者ニーズを踏まえた商品の魅力向上▽デジタル化やポストコロナの社会経済情勢の変化を踏まえた販売・広告のあり方など、宝くじの活性化に向けて幅広い視点で議論・検討を行い、速やかに対応策を講じる必要性を訴えている。

収益は——自治体財源に

サマージャンボ宝くじ 販売開始

クーちゃん

宝くじ公式サイト

サマージャンボ 7億円 3千万円

1等前払賞金7億円 1等5億円、前払賞金1億円

1等3,000万円

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月5日(火) 同時発売

※1等3,000万円 2022年度市町村振興宝くじ 一般財団法人 全国市町村振興協会



貝塚市役所新庁舎
(写真提供=貝塚市)



議場
(同左)



五條市役所新庁舎
(写真提供=五條市)



議場
(同左)



人吉市役所新庁舎
(写真提供=人吉市)



議場
(同左)

25日に総務大臣に提出した「活力ある持続可能な地域社会を実現するための地方財政改革についての意見」の中で、宝くじの現状に関して、今後とも人口減少などにより宝くじを取り巻く環境が一層厳しくなると指摘。宝くじの売り上げ回復を図った地方財源の確保を図っていくため、▽購入者ニーズを踏まえた商品の魅力向上▽デジタル化やポストコロナの社会経済情勢の変化を踏まえた販売・広告のあり方など、宝くじの活性化に向けて幅広い視点で議論・検討を行い、速やかに対応策を講じる必要性を訴えている。

議場は県内産木材を使用。天井は市内榮山寺・八角堂 (国宝) をモチーフにデザインされ、床面カーペットは清流吉野川の流れを表現。円滑な会議運営のため、映像・音響・情報設備が構築されている。

議場は市民に開かれた市政・議会として市民参加を促すため、地元産木材を利用して明るく親しみある内装デザインを施した。議場横のロビーからは市内の街並みや山並みを眺望できる開放的な空間となっている。

新庁舎落成

▽貝塚市 (大阪府)

〒597-8585

貝塚市 田中1-17-1

TEL 072-433-7311

FAX 072-433-7313

傍聴席には車いす用スペースがあり、親子傍聴席も整備されている。また、議会開催中には議場の模様が庁舎1階と6階の市民交流スペースで放映される。

▽五條市 (奈良県)

〒637-8501

五條市 岡口1-3-1

TEL 0747-23-2000

FAX 0747-25-0466

議場は県内産木材を使用。天井は市内榮山寺・八角堂 (国宝) をモチーフにデザインされ、床面カーペットは清流吉野川の流れを表現。円滑な会議運営のため、映像・音響・情報設備が構築されている。

▽人吉市 (熊本県)

〒868-8601

人吉市 西間下町字永溝7-1

TEL 0966-22-5381

FAX 0966-22-7019

議場は市民に開かれた市政・議会として市民参加を促すため、地元産木材を利用して明るく親しみある内装デザインを施した。議場横のロビーからは市内の街並みや山並みを眺望できる開放的な空間となっている。

全国市議会議員互助会の保険

全国市議会議員団体補償制度のご案内

保険
期間

令和4年8月1日から1年間

補償内容、保険料を見直しました!!

[保険料] 月々3,500円~

ケガの保険
団体割引
20%全国市議会議員会
議員専用ページスマートフォン
サイトはコチラ

全国市議会議員互助会は、全国の市議会議員の相互の交流親睦を深め、相互扶助を行うことを目的に、任意加入の保険として傷害総合保険の「全国市議会議員団体補償制度」と疾病やけがによる入院・手術を補償する「全国市議会議員医療保険制度」等の事業を行っています。

「けがの補償」「賠償の補償」
充実の補償をご提供

本制度は、議員の皆様
の福利厚生制度の一環と
して、日常生活における
「けが」と「賠償」をセッ
トで補償する保険です。
一般の保険に個人で加
入するよりも割安な保険
料で大きな補償が受けら
れます。

「けがの補償」は、日
本国内・海外を問わず、通
勤途中、公務中、家庭内、
職場内、旅行中など、日
常生活におけるあらゆる
けがを補償します。地震
などの天災事故によるけ
がも補償します。^{※1}

「賠償の補償」は、本
人だけでなく、配偶者や
同居の親族などが日常生
活において、他人をけが
させたり、他人の財物を
壊したりしたことにより、
法律上の賠償責任が発生
した場合に補償します。

今年度は「家族型」が
新設され、議員の皆様1
人のお申込みでご家族の
皆様を補償できるように

なりました。

加入対象は市議会議員
プランにより配偶者・
家族も補償
退職時に継続加入可能

市議会議員の皆様であ
れば、どなたでも加入で
き、加入に際して医師の
診査は不要です。夫婦型
への加入なら配偶者も、
家族型への加入なら、配
偶者、本人またはその配
偶者の同居親族、本人ま
たは配偶者の別居の未婚
の子も保険の対象とな
ります。

また、議員を退職され
る方で、保険契約の継続
を希望される場合は、引
き続き加入することがで
きます。

保険期間は8月1日から
中途加入も随時受付

保険期間は、毎年8月
1日から1年間で、中途
加入も随時受け付けてお
り、特段の申し出がない
限り、翌年度以降も自動
更新となります。
継続して加入されてい
る方は、8月1日補償開

全国市議会議員団体補償制度の概要

全国市議会議員 団体補償制度のご案内

ケガの保険
(傷害総合保険)月額3,500円〔夫婦型は5,700円
家族型は7,900円〕で充実の補償をご提供!!

※加入対象者：市区議会議員の皆さま(議員退職時に継続加入いただけます。)

NEW 2022年度より
“家族型”を新設します!!議員の皆さま1人のお申し込みで
ご家族の皆さまを補償できます!

- 本人 ■ 本人の配偶者
■ 本人またはその配偶者の同居の親族(※)
■ 本人またはその配偶者の別居の未婚の子
(※) 親族：6親等内の血族、配偶者または3親等内の姻族

制度の特長

保険料(3,500円/月)が割安! 最大死亡・
後遺障害保険金額2,000万円の補償
団体契約による割引がなければ保険料は本人型で
4,390円/月となります。

たとえばこんな場合、補償の
対象になります。

日常生活や議員活動中の
事故によるケガ 特定感染症を
発病して入院 同居の子供や孫が
他人のものを破損させた

このご案内は概要です。詳細はお問い合わせください。

保険金額と保険料

(保険期間：2022年8月1日午後4時から1年間)
(団体割引20%)
(保険期間1年、職種級別A級)

NEW

プラン	本人型	夫婦型	家族型
補償の対象者	本人	本人 配偶者	本人 配偶者 同居の親族と別居の未婚の子
補償内容	保険金額		
死亡・後遺障害 保険金額	2,000万円	2,000万円	1,000万円 2,000万円 1,000万円 500万円
入院保険金日額	10,000円	10,000円	9,000円 10,000円 9,000円 4,000円
通院保険金日額	4,950円	4,950円	4,150円 4,950円 4,150円 2,350円
手術保険金	重大手術 入院保険金 日額の40倍 の場合	重大手術 入院中の手術：入院保険金日額の20倍 以外の場合	入院中の手術：入院保険金日額の20倍 外来の手術：入院保険金日額の 5倍
特定感染症 危険補償	特定感染症を発病し、その直接の結果として発病の日からその日を含めて 180日以内に、所定の後遺障害が生じた場合や入院・通院した場合に、後遺 障害保険金、入院保険金、通院保険金をお支払いします。また、発病の日から その日を含めて180日以内に死亡した場合に、被保険者の親族等が負担 された葬祭費用(実費)に対し、300万円を限度として葬祭費用保険金をお支 払いします。		
個人賠償責任補償	最高2億円(自己負担なし)		
月払保険料	3,500円	5,700円	7,900円

天然危険補償特約・後遺障害等級限定補償特約(第1級~3級)・手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金
倍率変更特約、特定感染症危険補償特約セット

〈お問い合わせ先〉(有)都市企画センター 〒162-0822 新宿区下宮町2-28-328 Tel:03-5261-8539 〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社

SJ22-02870(2022.6.22)

資料をご希望の方は、全国市議会議員互助会までお気軽にお問い合わせください。 ☎ 03-3262-5233

*1 職務遂行や自動車に起因するものなどは対象外となります。

SJ22-03494(2022.6.28)